

「ちょっと迷っているんだけど・・・」事務所訪問での出来事

10日、丹波教育事務所・学校サポートチームの2度目の学校訪問がありました。1学期の訪問時には、不登校や問題行動



を考える上で大切にすることは何かという話になりました。その話し合いの中で「困ったときにSOSが言える子を育てること」

「困ったら聞くよ。大人（教師・家族・地域の方々）は助けてくれる存在という経験すること」そうした経験が将来何か困った時に踏みとどまれる大人になれるのではないかと助言頂きました。



その後、先生方とは校内研修で「自律した子どもとはどんな姿だろう、またそうした児童を育てるため教師は何を大切にすることが必要だろう」と話し合いました。職員みんなで結論づけたのは、「自律した子とは、何もかも一人で完璧にできることではなくて、自分の困ることやわからないことに気づけたり、自分の得意苦手を知っていて、わからない時に友





「だちや先生に尋ねられたり伝えたりする子」「だから、先生は、子どもたちが自分を振り返る機会を確保したり、質問タイムなどで悩みやわからないことが言い合えるクラスづくりに取り組もう。」ということでした。



今日の参観時に発表していた子が「ちょっと迷っているんだけど・・・」と言いながら自分たちが2つの答えで悩んでいることを伝えながら説明を始めていました。サポートチームの方からはクラス内で弱みを出せる関係にあることや SOS が出せる雰囲気があることを授業を通して感じましたと話して頂きました。

今回の訪問で話し合ったことを先生方にも伝え、取組を進めていきたいと思えます。ありがとうございました。

今回の訪問で話し合ったことを先生方にも伝え、取組を進めていきたいと思えます。ありがとうございました。